



全国の人工透析患者を減らす為に

CKD 対策講演会、名古屋市16区で予定 (慢性腎臓病)

現在透析予備軍と言われる糖尿病患者800万人、慢性腎臓病に至っては1,330万人になります。当NPO法人名古屋市腎友会は毎年11月に「透析にならないためのCKD対策講演会」を開催してきました。本年度より、より多くの人に慢性腎臓病の恐ろしさを知ってもらうために名古屋市16区でCKD対策講演会を開催することになりました。

第1回 あなたの腎臓は大丈夫ですか!!

CKD

(慢性腎臓病)

■参加費は無料です。

緑区

Midoriku



● プログラム ●

1. 講演

「腎臓病といかにつき合うか」

■講師 湯澤由紀夫先生

学校法人藤田学園

藤田保健衛生大学病院 副院長

■座長 富田 亮先生

藤田保健衛生大学医学部

腎内科学講師

2. 栄養指導

■講師 小川 幸子氏

藤田保健衛生大学

食養部 管理栄養士

3. 体験談

4. 相談会

日時：平成23年10月2日(日)

午後2時～4時(開場午後1時30分)

会場：名古屋市緑区役所講堂

〒458-8585

名古屋市緑区青山二丁目15番地

TEL 052-621-2111(代表)

交通：名鉄：「鳴海」下車 徒歩20分、

「左京山」下車 徒歩15分

市バス：JR東海「大高」より5分

「緑区役所」下車 徒歩すぐ

主催：NPO 法人名古屋市腎友会

後援：名古屋市、一般社団法人愛知県腎臓病協議会

問い合わせ先：NPO 法人名古屋市腎友会事務局担当

高橋元治 固定電話 (052) 653-6480

携帯電話 090-4157-9167

NPO 法人名古屋市腎友会第9回総会開催

平成23年5月8日（日）中外東京海上ビル8F 中外製薬（株）会議室で第9回NPO 法人名古屋市腎友会総会が行なわれた。当日は約70名の会員が出席して盛大におこなわれた。

来賓挨拶としてはじめに衆議院議員吉田統彦、次に名古屋市議会を代表して渡邊義郎市議、横井利明市議が挨拶。ひきつづき、愛知県腎臓病協議会 会長小川幸一、偕行会城西病院 院長勢納八郎、愛知県薬剤師会



総会の風景

社会保険部会 部長 坪井義之が挨拶された。

総会終了後、名古屋市健康福祉局 副局長 佐藤良喜氏による講演が行われた。

■講演の題名 「健康と福祉」

講師：名古屋市健康福祉局 副局長 佐藤良喜氏

（講演の要旨）

- ・名古屋市の身体障害者手帳所持者数（84,068名）
- ・愛知県の人工透析患者数の推移（平成13年→11,621名、平成21年→15,772名）
- ・愛知県の人工透析患者の発生原因疾患（1位慢性腎炎、2位糖尿病性腎症）
- ・腎臓疾患の予防
- ・平成21年度 名古屋市の自立支援医療給付の内訳（腎臓機能障害分）
- ・名古屋市の主な人工透析患者の利用できる福祉制度例）タクシーチケット 120枚（他の障害者は96枚）
- ・平成23年度国家予算→国の財政を家計にたとえると
- ・平成23年度 名古屋市健康福祉予算の説明
- ・社会保障制度のあり方の検討ポイント
- ・社会保障給付費の推移
- ・国及び地方の長期債務残高の推移
- ・国民負担率の国際比較（対GDP比）
- ・国の社会保障制度の検討状況

以上



佐藤副局長講演

■会員のページ 災害時の為の対応

1. 普段から自分の透析データ及び薬のデータ等をメモして、持参もしくはレスキューポットに入れておく。

2. 普段からせめて自宅の両隣及び町内会長、民生委員には自分が透析患者である事を知らせておく事。

3. 災害時は通っている透析病院が透析ができるかどうか確認。

4. 患者会のと連絡（安否。病院が透析ができるかどうかの情報。他の透析施設の情報）

5. 避難する場合

① 第一次避難所で透析ができる環境ならいいが、もしだめならできる第二避難所に移動。

福祉避難所がベスト。もちろん自分が透析患者である事の意味表示が必要。

② 災難拠点病院を目指す。

(透析ができる環境が大)

③ ライフラインが復旧するのが3日～5日以降。災害が大きい時は1週間はかかる。思い切って遠隔地の親戚、友人を頼って移動。前もって透析施設を調べておく。

☆福祉避難所とは

障害者、高齢者ら要援護者が相談等の必要な生活支援が受けられるなど、安心して生活できる体制の避難所。

指定される施設は耐震、耐火、鉄筋構造を備えバリアフリーが整った老人福祉センター等の施設。名古屋市内は30箇所
各区1箇所～4箇所 計989名収容

(例) 熱田区 老人福祉会館 1箇所 26名収容

*名古屋市内身体障害者手帳所持者が約8万人、愛護手帳の人を含めれば10万人を優に超えるが、収容できる割合が100分に1にも満たないのが現状。



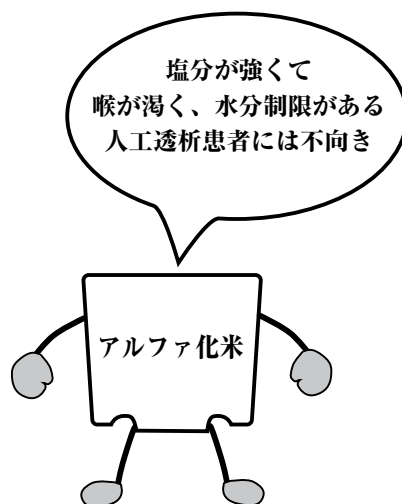
☆避難所の食事について

配られるカップ麺やおにぎりは塩分が多いので注意。

バナナはカリウム制限がある透析患者は不向きである。

出されるアルファ化米は味付けが多いので、塩分やカリウムの制限がある人は注意が必要。

◎現在、名古屋市腎友会は名古屋市に対して福祉避難所の更なる充実と災害時の備蓄米にアルファ化米に低タンパク質のはんぶん米を加えてほしいと要望している。



平成 23 年度 NPO 法人名古屋市腎友会今後の活動予定

- 10月2日(日) 緑区CKD(慢性腎臓病)対策講演会 午後2:00~4:00
緑区役所講堂 講師 湯澤由紀夫先生(藤田保健衛生大学病院・副院長)
- 11月6日(日) 第7回市民公開講座 午前10:00~12:00
中外東京海上ビル8F 中外製薬(株)会議室
講師 湯澤由紀夫先生(藤田保健衛生大学病院・副院長)
- 11月上旬 名古屋市健康福祉局へ陳情
- 24年3月 昭和区CKD(慢性腎臓病)対策講演会予定

NPO 法人名古屋市腎友会のホームページをにぜひアクセスしてください。

<http://www.nagoya-jin.org/>

● 情報提供のお願い・女性部会員募集 ●

●ただいま、活動のために女性部の会員を募集しています。

NPO 法人名古屋市腎友会 事務局長 高橋 元治

名古屋市熱田区二番2-18-24 今津ビル201号 TEL 052-653-6480 FAX 052-653-3271

メールアドレス: info@nagoya-jin.org